

## **第3編 まちづくり基本計画**

**1部 まちづくり戦略**

**2部 分野別計画**

## **第3編 まちづくり基本計画**

### **1部 まちづくり戦略**

# 第3編 まちづくり基本計画

## 1部 まちづくり戦略

基本計画（分野別計画）に示している施策をそれぞれ進めるだけではなく横断的に相互連携することにより戦略的に進めていくことが重要です。また、SDGs の取組を進めるにも施策を有機的に連携させることが重要であり、中長期的展望で分野横断的な施策について行政分野間で相互の連携を図るとともに、**市民や市民活動団体、事業者、行政などの関係機関等がそれぞれ役割を認識し、互いに協働しながら将来を見据えた魅力あるまちづくりを推進します。**

### 1 快適な生活環境の充実

幹線道路の事業促進による交通ネットワークの推進を図り、車による他都市間や空港・港湾等との移動を快適にすることで、市民生活の快適性を向上させるとともに、観光客の利便性向上による広域観光の促進や港湾整備と一体となった物流の効率化など、産業経済活動の活性化、危機管理体制の充実を図ります。また、「東港地区」の魅力ある地域づくりを進めて、周辺地域を含めた魅力の向上と市民や観光客等の賑わいを創出します。

地域における身近な小学校や保育園、公民館は、質が高い教育、保育サービスの提供、生涯学習と地域における交流の充実などの観点から、地域の参画とともに配置や機能・規模の適正化を図ります。

#### 【関連するSDGsの目標】



#### (1) 交通ネットワークの形成

- 広域的な幹線道路となる国道 23 号蒲郡バイパス、国道 247 号バイパス（中央・鹿島）、国道 473 号バイパスの事業促進や早期事業化、市内の幹線道路となる都市計画道路大塚金野線、都市計画道路竹谷柏原線の早期事業化などによる幹線道路ネットワークの充実を図ります。
- 幹線道路ネットワークの形成によるアクセス向上を生かし、広域観光の促進や物流機能の強化などによる本市の産業経済活動の活性化を図ります。
- 幹線道路の事業促進を図るとともに、日常の暮らしを支える生活道路の整備を進めることで、安全で快適な移動を実現し、市民生活の利便性や安全性の向上を図ります。

#### 【関連するSDGsの目標】



#### (2) 港湾機能強化による地域活性化

- 市内の事業所をはじめ三河港の背後地域に位置する工業地帯の国際競争力の強化を図るとともに、災害時の海上輸送確保、豊富な観光資源を背景にクルーズ船の寄港地として蒲郡航路や大型船用-11m岸壁、岸壁背後地等の整備を促進し、国際貿易港である三河港蒲郡地区の海外との物流・観光拠点としての機能強化を図ります。
- 三河港から幹線道路までのアクセス道路の整備により、一体的な物流基盤の充実を図るとともに

に、中部国際空港や東名・新東名高速道路といった広域的な交通ネットワークにより、陸・海・空の一体的な物流拠点としての発展に努めます。

- 海の玄関口にふさわしい港として景観に配慮した海岸環境整備を進めるとともに、滞在型リゾートの拠点としての整備を進め、海洋性レクリエーション拠点としての機能の充実を図ります。

【関連するSDGsの目標】



(3) 危機管理体制の充実

- 市民の生命・身体・財産に被害を及ぼす、地震や風水害などの自然災害をはじめ、武力攻撃、感染症、その他重大な事件や事故など様々な危機に対応するための体制を整えます。
- 円滑・迅速に適切な対応がとれるよう、関係機関と相互に連携・協力し、多様化する危機の発生を防ぎ、発生した場合は被害者の影響を最小限に抑えるよう危機管理対策を推進します。
- 危機管理事象に備えた対策を推進するため、危機を想定した訓練や研修等を行い、危機管理意識の向上を図ります。
- 危機管理事象発生時に備え、危機の段階に応じて、継続または強化する業務を明確化し、市民の生命、生活及び財産の保護、市機能の維持・早期回復を図ります。

【関連するSDGsの目標】



(4) 魅力ある地域づくり

- 市のシンボル竹島が浮かぶ三河湾に面したまちの魅力をいかした居心地のよい空間をつくるため、中心地域である蒲郡駅周辺の市街地エリア、三河港で人流・交流の位置づけがある海辺のみなとエリア、竹島など観光施設が立地する竹島周辺エリア、これらを合わせた「東港地区」の魅力ある地域づくりを進めます。
- エリア全体を有機的につなげることで、魅力を高め、市民の生活の質の向上や市民や観光客等の賑わいを創出するとともに、歴史や文化をより身近にすることで地域への愛着と誇りを醸成します。

【関連するSDGsの目標】



(5) 公共施設の規模適正化

- 市民に身近な小学校や保育園、公民館は、老朽化が進んできており、また、子どもや地域の人口動向、ニーズを見据える必要があり、地域の参画を図りながら、利用の促進とともに、配置や機能の適正化・改善を進めます。
- 小中学校は、学校教育ビジョンで示している社会に開かれた学校文化の創造、確かな学力の創造を進めています。このような学校環境の実現に向けて、児童生徒の教育条件の向上、防災・交流の拠点としての役割を考慮して、本市が実施してきた「35人以下学級」が可能なように小規模校について学校の統合、小中一貫教育の導入など多角的な手法の導入を検討します。
- 保育園は、子ども達にとって安心安全な保育環境を継続的に確保していくために、公立保育園の整備と運営効率の向上、民営化の検討など、多様な保育ニーズに対応するとともに保育士の確保を図ります。このため、保育サービスの統一、保育園の更新・配置の適正化、民間保育園の活用、保育園の配置について検討します。
- 公民館は、魅力的な生涯学習講座の充実や人がつながる交流機能の配置が求められています。

このため、学習内容等を充実する社会教育機能に重点を置く中央公民館と、利用の範囲を柔軟に拡大し、地域の交流拠点として地域に開かれた気軽に利用することができる地区公民館に再編する方向を検討します。

## 2 生涯活躍できる地域社会づくり

雇用の維持と事業の継続、経済活動の活性化を図りつつ、医療、福祉、教育など社会全体の未来技術の実装を推進することを通じて、デジタルトランスフォーメーション※<sub>1</sub>を推進し、市民、事業者、行政が抜本的に生産性を向上していく必要があります。このため、市一体となって産業の活性化及び効率的で質の高い行政サービスを展開していきます。

また、性別や年齢、障がいの有無に関わらず、すべての人が活躍できる社会を作っていくとともに、行政だけではなく、企業、NPOなどあらゆる関係者が協働して、安心して、支え合える、誰一人取り残さない社会を推進します。

### 【関連するSDGsの目標】



### (1) Society5.0に向けた生活環境・生活基盤の整備

- ICT（情報通信技術）などを活用し、個々の能力を発揮し、生産性の向上など効率的な働き方を促進するため、テレワークの普及・導入促進、ロボット等を活用した職場の省力化や無人化の促進、行政手続等のオンライン化などを促進していきます。
- デジタルトランスフォーメーションに対応したイノベーション※<sub>2</sub>の創出や創業を促進するために、産業分野を超えた新たな企業間のつながりや人材の確保・育成の支援など新たな時代のニーズに合わせた支援を図ります。
- 移動時間の最適化や豊かな時間を創出し、生活の利便性の向上や物流、災害時も想定したMaaS※<sub>3</sub>やCASE※<sub>4</sub>などの先進のモビリティサービスの導入などにより、持続可能で利便性の高いスマートな地域づくりを推進していきます。
- 再生医療等の先端医療分野や先進的な健康・予防分野等のヘルスケア産業の一層の集積を図るとともに、市民の参画を得ながら、産業振興と疾病予防や健康づくりが融合するまちづくりを進めます。

### 【関連するSDGsの目標】



### (2) 子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らせる支援の充実

- 子どもの生きる力を育み、個性を伸ばすとともに、子ども達が明るく学び、遊ぶことができる環境づくりを進めます。
- 社会的な孤立・孤独をはじめとした複雑化・複合化した課題に対する支援ニーズに対応し、人と人とがつながりを守る活動を推進することで、誰もがいつまでも住み慣れた地域社会で、必要な医療や介護サービス等を利用しつつ、家族や地域の人々との絆のもとでお互いに支え、助け合いながら、安心して暮らし続けられる「地域共生社会」の形成を図ります。

- 定住人口のみならず観光客をはじめとした来訪者も本市で過ごす「一日生活者」として広く市民として捉える必要があります。市民も来訪者も本市の魅力に触れ、心の癒しを感じることで生活の豊かさを実感し、幸せを見出す機会を得ることができるようなまちの形成を図ります。

## 【関連するSDGsの目標】



### (3) 多様な地域の担い手の参画促進

- 市民の価値観が多様化し、様々なボランティア活動や地域活動等を通して、市民一人ひとりがまちづくりの主役としての自覚を持てるような取組を進めます。市民がまちづくりに参加する機会を広げるとともに、**地域コミュニティや市民活動団体などの担い手・育成を進めるために、外国人市民、障がい者など多様な人々が活躍する社会をめざします。**
- 市民や事業者、行政等の**情報提供及び共有の場をつくり、市民活動・市民協働参画への意識を更に高め、また、市民や企業、行政などが様々な形のパートナーシップを築きながら、市民参画・協働による自立したまちづくりを進めていきます。
- 行政サービスの持続性を高め、多様化する行政課題に対処するために、公民連携の推進を図ります。このため、民間が行政サービス参加する機会を創出し、産業の活力を高めるとともに、民間の発想や多彩なノウハウを生かして、まちの賑わい創出や市民や来訪者が過ごしたくなるようなまちづくりを促進します。

#### 【用語の解説】

##### ※1 デジタルトランスフォーメーション

データやデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、手続き等を簡単・便利にし、生産性を向上させ、仕事のやり方、業務そのものを変革するもの。

##### ※2 イノベーション

新しい技術や考え方を導入して新たに価値を生み出すこと。

##### ※3 MaaS (マース: Mobility as a Service)

地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応した、複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

##### ※4 CASE

Connected(接続)、Autonomous(自律走行)、Shared(共有)、Electric(電動)の略。これらを組み合わせた次世代の地域交通。

## 3 人を引き寄せる持続可能な地域づくり

海と山に包まれた美しい自然環境を持続し、美しい生活環境や観光地を実現するために、経済・社会・環境の3側面の調和を図り、持続可能な社会を目指します。資源を大切にするライフスタイ

ルや産業活動を一層進め、美しい自然や快適な生活環境の維持と向上に努めます。

また、地域としての持続性を維持するとともに、都市としての活力を高めるために、市民のまちに対する誇りを高めながら定住の促進など人口減少のスピードを抑え、観光客などの交流人口の増加、さらに移住者未満と観光客以上のような関係人口の創出を図ります。

【関連するSDGsの目標】



(1) 自然環境の保全と魅力向上

- 河川や三河湾、背後の山林の美化と管理を進め、市民が親しみやすいようにするため、地域資源の魅力をもとに共有しながら、観光や農林水産業、商工業などを最大限に活用し、地域産業の活性化に取り組めます。
- 2050年の脱炭素社会（カーボンニュートラル）※5を目指すために、生活から産業活動に渡って温室効果ガスの排出量を削減するとともに、再生可能エネルギーの利活用を推進します。
- 未来を担う子どもたちへのふるさと教育や市民一丸となった自然環境の保全など、産業だけではなく、あらゆる分野で本市の持つ様々な地域資源を最大限に活用し、活力と個性あふれるまちづくりを進めていきます。

【関連するSDGsの目標】



(2) シティセールス、移住・定住の推進

- 人口減少を和らげるためには、市民に住み続けてもらうこと、本市の良さや可能性を見出して移住してもらうことが必要です。このため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、結婚、出産、子育て環境の充実を図るとともに、産業の活性化、人が集う地域をつくることで将来にわたって活力のある地域社会をめざします。
- 蒲郡市の魅力をブランドとして確立するために、「蒲郡市シティセールス基本方針」に基づき、ここにしかない魅力「がまごおりじなる」をみんなで掘り起し、確立し、地域内外に戦略的かつ継続的にアピールする取り組みを官民が連携してシティセールスを推進します。観光都市としての実績を生かしながら、蒲郡市に誇りと愛着を持った定住人口、多様な関係人口の増加をめざします。

【用語の解説】

※5 脱炭素社会（カーボンニュートラル）

二酸化炭素の排出と吸収がプラスマイナスゼロになるエネルギー利用のあり方やシステム。